

1. 科目名(単位数)	人権教育 (2単位)	3. 科目番号	GELA1333
2. 授業担当教員	攪上 哲夫		
4. 授業形態	講義、グループ学習、討議、発表等	5. 開講学期	春期(池袋) 秋期(池袋・王子)
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>○人権教育とは「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」(「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律第2条」)であり、国民は「人権尊重の精神の涵養に努めるとともに、人権が尊重される社会の実現に寄与するよう努めなければならない。」(同法律第6条「国民の責務」)とされている。</p> <p>○上記の趣旨を受けて、本科目においては、日本及び海外の人権課題(問題)の現状や解決・改善の取り組みについて理解を深める学習を行う。</p> <p>○学校や社会における継続した人権教育(いじめ、虐待、女性・外国人の人権等具体的な人権課題)の必要性やその在り方を実践的に学習し、人権感覚を磨き、身に付けられるようにする。</p> <p>○人権教育に関わる基本的な法例等についても学習する。</p>		
8. 学習目標	<p>○人権の歴史や日本国憲法における国民の権利について再確認し、重要点についての理解を深めることができる。</p> <p>○人権教育の根拠法である「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」や「人権教育・啓発に関する基本計画」について、目的、基本理念、内容について理解を深めることができる。</p> <p>○『人権教育・啓発白書』に示されている我が国の人権課題を把握し、人権尊重に関する現状と諸課題についての理解を深め、人権課題の解決に努めていこうとする姿勢を身に付ける</p> <p>○学校や社会において、人権感覚を磨き身に付ける継続した取り組みの必要性について、積極的に授業に参加し、理解を深めることができる。</p> <p>○人権擁護を目的とする種々の国際法(条約)や国内法の概要を理解できる。</p>		
9. アサインメント (宿題)及びレポート課題	<p>1. 人権問題について関心のある課題を1600字数程度で考察する。</p> <p>2. 法務省「啓発活動強調事項17項目」より一項目を選び、人権問題を調査し、人権教育の視点からその改善策を考察する。</p> <p>3. 授業回ごとに、人権教育の振り返りを行う。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】阿久澤麻理子・金子匡良著『人権ってなに?』解放出版 2006年</p> <p>【参考図書】中野光・小笠毅編著『ハンドブック 子どもの権利条約』岩波書店、2019。 中野睦夫編著『早わかり人権教育小事典』明治図書、2019。 北野秋男・上野昌之編『ニッポン、クライシス! マイノリティを排除しない社会へ』学事出版、2020。</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 人権教育の意義及び基礎を理解しているか。</p> <p>2. 人権問題の現状や解決・改善の取り組みについて自らの問題として理解を深めているか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>グループでの活動、授業への積極的参加度、レポート等を総合して評価する。</p> <p>1 グループでの活動 総合点の30%</p> <p>2 積極的態度(発言、討議、取り組み等) 総合点の20%</p> <p>3 レポート等(小課題、試験を含む) 総合点の50%</p> <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>「人権教育」に関して、各自が自分の問題として「人権問題」に関心を持ち、主体的に人権問題を考察してほしい。前半は、人権教育の基礎基本を、教科書を主に学ぶ。後半は、人権問題の個別課題を通じて、考え、人権の課題を追究する。本科目には、留学生が登録する場合もあり、世界的な視点から人権問題を考え、共に学ぶ姿勢をもって参加すること。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	1. 人権の意味① 教科書 pp.9-11 「Q1 そもそも『人権』とは何なのですか?」 様々な人権問題を考え、人権教育について自身の体験を想起し、人権についての問題意識を持つ。	事前学習	人権とは何か。人権についての自身の体験について整理する。
		事後学習	教科書 pp.9-11 「自分らしく生きるとは何か」自身の体験を振り返りまとめる。
第2回	2. 人権の意味② 教科書「人権の種類」「なぜ自分らしく生きる必要があるのか」pp.11-14、提供する事例をもとに、各自の人権に対する考え方を整理する。	事前学習	社会で問題となった人権問題の新聞記事等を調べ、人権とは何かの問題意識を持つ。
		事後学習	教科書 pp.15-17「コラム1 人権の限界と弊害」を読み、人権の限界、人権の弊害、人権の使い方について振り返る。
第3回	3. 人権の歴史① 教科書 pp.18-23「Q2 人権は、いつ、どこで、どのようにして生まれたのですか?」 「人権思想の始まり」から「発展続ける人権」までの人権の歴史を確認する。	事前学習	教科書 pp.18-23を読み、人権思想の始まりを押さえて授業に臨む。
		事後学習	人権が創出されてきた歴史について振り返る。
第4回	4. 人権の歴史② 教科書 pp.24-26「日本国憲法」が保障している人権の体系」「人権の種類・ひとくち解説」から、日本国憲法で位置付けられている人権の体系を理解する	事前学習	日本国憲法が保障している人権の体系を調べる。
		事後学習	日本国憲法が保障している人権の体系を人権

	る。		の種類から分類する。
--	----	--	------------

第5回	5. 人権に関する言葉 教科書 pp.27-38 「Q3 人権・権利・自由・平等はどのような関係にあるのでしょうか？」 「権利・自由・平等」とは、人権教育の中でどのような意味なのか考察する。	事前学習	教科書 pp.27-38、「人権・権利・自由・平等」の関係を読み取る。
		事後学習	人権教育の中で「権利・自由・平等」がどのような意味を持ち、使われているのかまとめる。
第6回	6. 人権の役割と対象 教科書 pp.47-56 「Q5 人権の役割は、国家から市民を守ることだけなのですか？」 人権侵害には、広義・狭義の意味を持つ事を押さえる。	事前学習	国家による人権侵害、私人間による人権侵害の事例を教科書より確認する。
		事後学習	人権侵害の内容と要因を振り返る。
第7回	7. 「子ども期」の発見 教科書 pp.76-78 「Q9 「子どもの人権」という考え方は、どのようにして生まれたのですか？」 「世界子どもの日」、「子どもの権利条約」制定に至るまでの経過を理解する。 参考文献：中野光・小笠毅編著『ハンドブック 子どもの権利条約』岩波書店 pp.18-29参照	事前学習	参考文献等より「子どもの権利条約」について予習する。
		事後学習	子どもの体罰・いじめ問題から子どもの権利条約の趣旨をまとめる。
第8回	8. 人権条約が国内に与える影響 教科書 pp.87-92 「Q11 国際人権条約を批准すると国内の人権状況はどのように変わりますか？」	事前学習	p.144「国連が中心となって作成した人権関係条約一覧」から、関心のある国際条約の内容を調べる。
		事後学習	「世界人権宣言」の趣旨を振り返る。
第9回	9. 我が国の人権教育の課題① 同和問題の歴史と現状について考察する。教科書 pp.116-117 「日本で最初の人権宣言-水平社宣言」	事前学習	部落差別の歴史を調べ、同和教育の現状を振り返る。
		事後学習	これからの同和教育の在り方についてまとめる。
第10回	10. 我が国の人権教育の課題② 教科書 pp.88-89 外国人の人権問題の歴史と現状、これからの課題について考察する。	事前学習	外国人の人権問題を調査し、日本及び海外での外国人の人権問題の問題点を整理する。
		事後学習	学校教育における外国人子弟の教育について考察する。
第11回	11. 我が国の人権教育の課題③ 「ジェンダー」という考え方は、私たちの人権観を大きく変えたと言われています。どのような変化だったのですか？教科書 pp.69-75	事前学習	ジュエングダーの視点から「女子差別撤廃条約」の趣旨を調べる。
		事後学習	様々な女性差別の現状を振り返り、今後の課題を振り返る。
第12回	我が国の人権教育の課題④ 障害を理由とする偏見や差別の現状とこれからの課題について考察する。 参考文献 中野陸夫著『人権教育小事典』pp.62-63 「障害者の人権」参照	事前学習	障害者を中心とする具体的な偏見・差別問題の実際を調べておく。
		事後学習	障害者への偏見・差別を解消するための具体的な取組を考察する。
第13回	我が国の人権教育の課題⑤ 人権教育の根拠法についてまとめ、これからの社会における人権教育の課題について考察する。	事前学習	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」の条項を調べる。
		事後学習	「人権教育の根拠法」等より、我が国の人権教育、これからの課題を考察する。
第14回	人権教育の課題⑥ 教科書 pp.110-115 「Q14 国際社会における人権教育の成果と課題とは何でしょうか？」 これからの人権教育の課題について考察する。①	事前学習	これまで問題としてきた人権問題の課題についてまとめる。
		事後学習	「人権教育」の課題について振り返る。
第15回	人権教育の課題⑦ 教科書 pp.118-124 「Q15 日本でも人権教育が制度化された現在、どのような視点からモニターするべきでしょうか？」 これからの人権教育の課題について考察する②。	事前学習	さまざまな人権問題の解決に向けた課題を解決する視点を探る。
		事後学習	人権尊重の普及を目指すために、21世紀が人権の世紀といわれるようになるにはどうしたらいいか、自らの課題として今後考えていく。